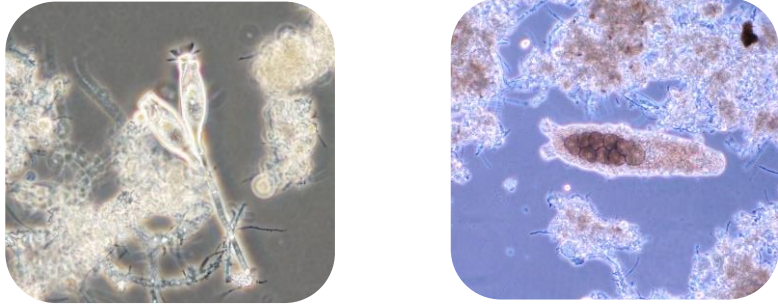


千葉市中央浄化センター



汚れた水はどうやってきれいになる？

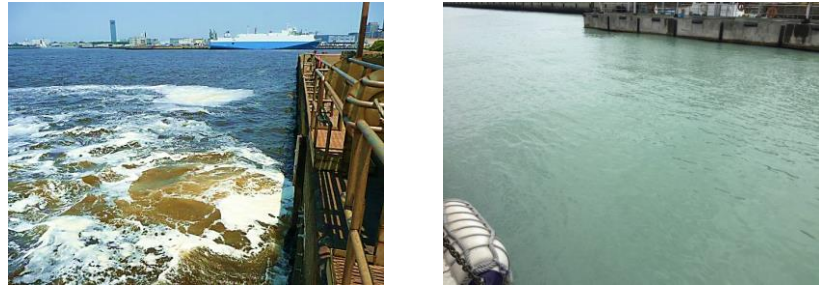
浄化センターには、家庭や工場で使われて汚れた水が、下水道管を通して流れてきます。そして、この汚れた水を浄化センターできれいにして、海にもどしています。では、汚れた水がどうやってきれいになるかというと、実は、目に見えない小さな生物（微生物）が活躍してくれています。微生物は下水の汚れを食べて、きれいにしてくれるのです。微生物にはたくさんの種類がいて、確認できたものだけでも約1万種。まだ、見つからないものも含めると、100万種くらいいるともいわれています。



汚れた水をきれいにする微生物（左：オペルクラリア、右：マクロビオツス）

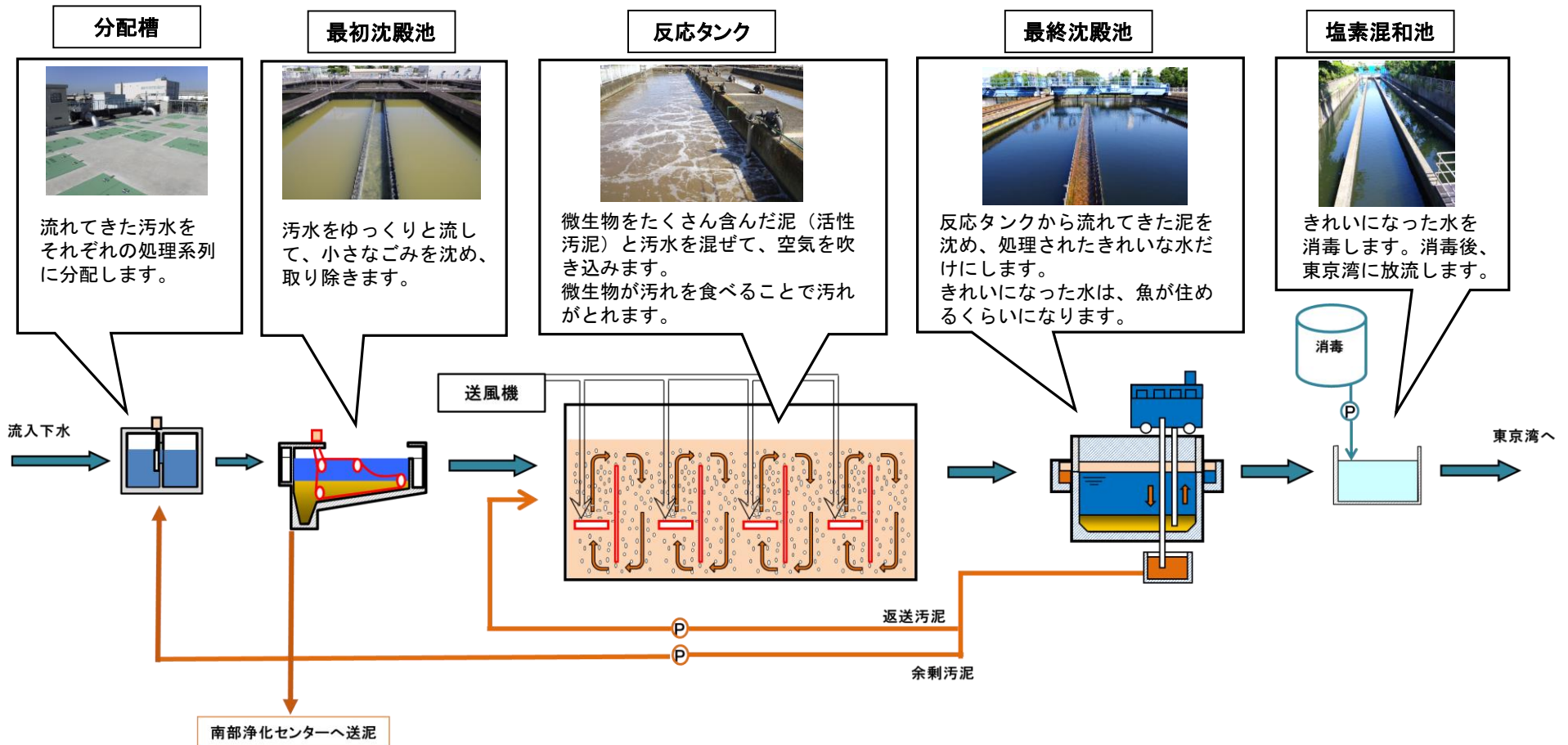
「赤潮」「青潮」って？

みなさんは、「赤潮」と「青潮」という現象を知っていますか？「赤潮」と「青潮」は海が赤くなったり、青くなったりする現象です。これは、海水中に窒素やリンという物質が多くなることによって、それを栄養としているプランクトンが異常発生することによって起こります。そのため、浄化センターでは、「赤潮」と「青潮」の原因となる窒素やリンをより取り除き、東京湾の水質改善につながるよう、取り組んでいます。



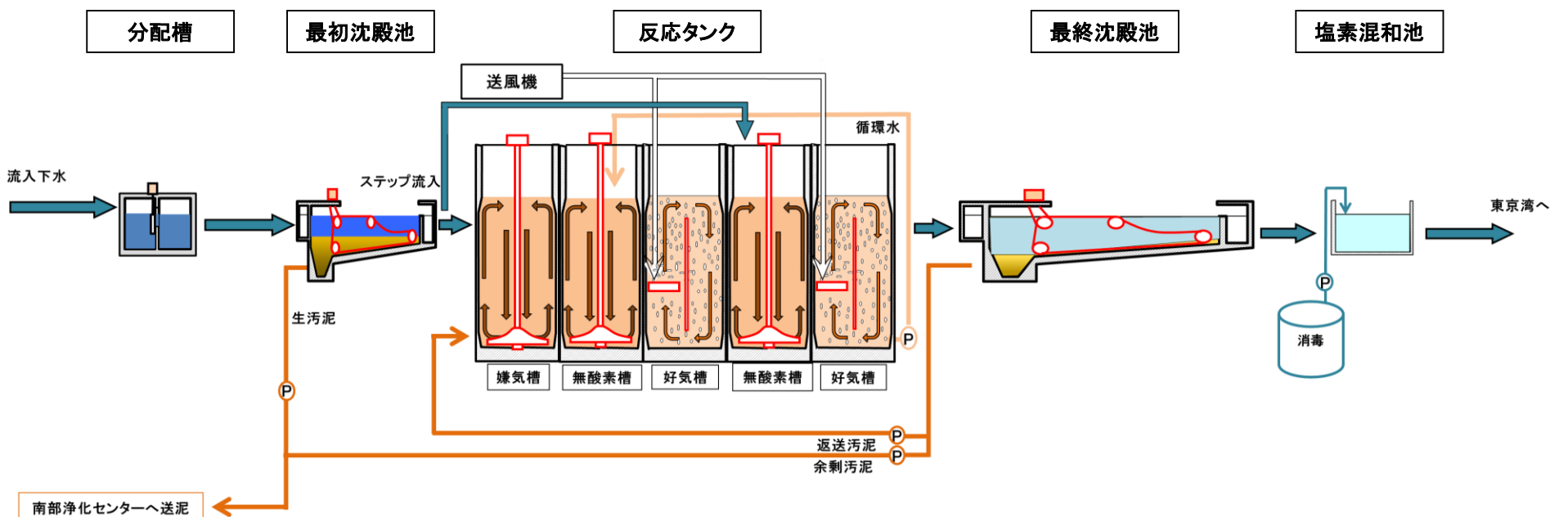
東京湾で発生した赤潮（左）・青潮（右）

処理の流れ（標準活性汚泥法【高級処理】）



処理の流れ（嫌気無酸素好気法【高度処理】）

2021年11月から、高度処理施設の稼働が開始しました。この施設は、赤潮や青潮の原因となる窒素やリンをより多く取り除くことができます。



○公共下水道の役割

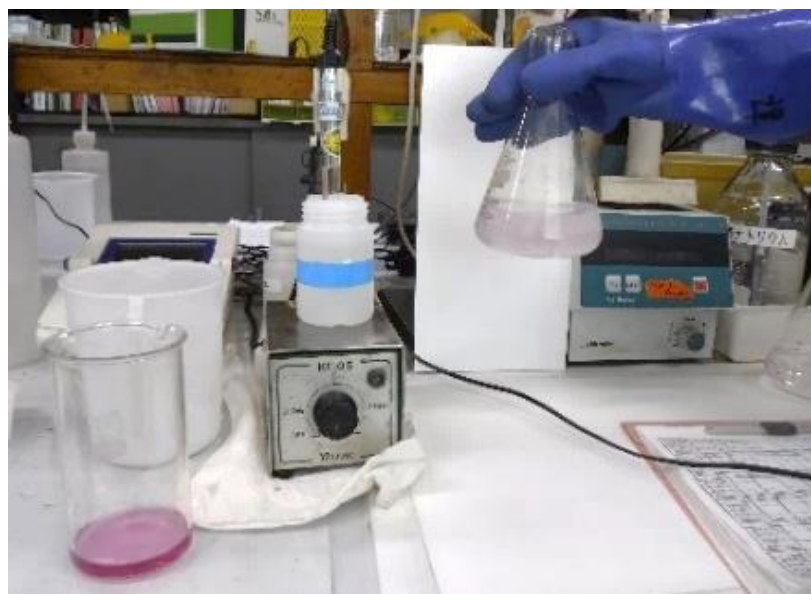
下水道は、快適な生活環境を維持するために、大切な役割をはたしています。

- 清潔な街をつくります
- 浸水から街を守ります
- 川や海をきれいに保ちます
- トイレを水洗化することができます



○浄化センターは 24時間稼働しています

浄化センターは、
24時間、1日も休むことなく、
市民のみなさんの生活環境を守る
ため動いています。
きれいになった水は、
海に放流されるため、常に
水質の監視を行っています。



○みなさんをお願いしたいこと

- 調理くずを流さないでください。
- トイレに水に溶けないものを流さないでください。
- 油を流さないでください。
- 洗剤を使いすぎないでください。
- 引火性のあるもの（ガソリン・灯油）を流さないでください。

大切な下水道、みんなで
守りましょう！



千葉市中央浄化センター
〒261-0002 千葉市美浜区新港69番地
Tel 043-241-8541
Fax 043-244-4040

2022年3月作成